

# 茄子紺 (なすこん)

## 朝からカレー？ 麻から〇〇〇！

彩り豊かな夏野菜カレーにあって、ゴロツとその存在感を示す「茄子」。茄子紺とは、その熟れた果皮の色を指します。実は、茄子紺の名前が用いられるようになったのは江戸時代、庶民のファッションの変遷が大きく関係しています。当時、庶民の普段着と言えどもっぱらその生地は麻でした。しかし、それが安価で丈夫な木綿へと変わり、その染色が容易であるという性質から藍染が盛んに行われました。そして、藍染の工程において「甕覗（かめのぞき）」「浅葱（あさぎ）」「紺（こん）」と何度も染めていくことで、紫みの濃い紺色である茄子紺が表現されたそうです。

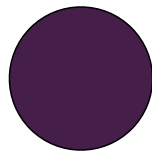


①色を再現する

※塗る貼るは自由

②色の名前 を記入 (漢字の場合はよみがなも)

※2・3年生はレタリングしよう!



# 茄子紺 (なすこん)

③記事の見出しを記入

## 朝からカレー? 麻から○○○!

彩り豊かな夏野菜カレーにあって、ゴロッとその存在感、皮の色、熟れた果実の香り、そして、麻の香りが漂う。そんな朝からカレー? 麻から○○○! 麻の香りが漂う。そんな朝からカレー? 麻から○○○!

④色にまつわる話を記入

その色の由来や説明、自身との関わり(エピソード)など、読み手の興味をひく内容にしましょう。

※ページ全体の3分の1を目安に

熟れた果実の香り、そして、麻の香りが漂う。そんな朝からカレー? 麻から○○○!



しかし、それが安価で丈夫な性質から藍染が盛んに行われました。そして、藍染の工程において「養親(かめのぞき)」「浅葱(あさぎ)」「紺(こん)」と何度も染めていくことで、紫みの濃い紺色である茄子紺が表現されたそうです。

⑤挿し絵を入れてもOK

※写真、イラスト問わず



⑥その色をモチーフとした画像を入れる ※自作 or 著作権フリーのものを!

なるべく

制作には次のページを印刷してご使用ください。

①の円の原寸は直径2.5cmです

